



# ソフトウェアメンテナンスアップデートのインストール

- [ネットワークアプリケーションを使用するための Cisco DCNM 11.5\(1\) へのソフトウェアメンテナンスアップデート \(SMU\) のインストール \(1 ページ\)](#)

## ネットワークアプリケーションを使用するための Cisco DCNM 11.5(1) へのソフトウェアメンテナンスアップデート (SMU) のインストール

Cisco DCNM をインストールしたら、Cisco App Center からさまざまなアプリケーションをダウンロードしてインストールできます。Cisco DCNM 11.5(1) LAN ファブリックのインストールで、Network Insights for Resources (NIR) リリース 5.1 以降を使用するには、最新のソフトウェアメンテナンスアップデートをインストールします。

Cisco DCNM Web UI からアプリケーションをダウンロード、追加、開始、停止、および削除するには、**[Applications]**、**[Catalog]**、**[Browse App Center]** の順に選択します。手順については、「[アプリケーションのインストールと展開](#)」を参照してください。



- (注) SMU バージョン 11.5(2) は、Cisco DCNM リリース 11.5(1) でのみサポートされます。Cisco Network Insights リリース 5.1 アプリケーションを使用するには、Cisco DCNM リリース 11.5(1) にアップグレードし、SMU バージョン 11.5(2) を適用する必要があります。

Cisco DCNM では、メンテナンスアップデートなしで NI 5.1 アプリケーションをアップロードできます。ただし、アプリケーションを起動することはできません。NI 5.1 アプリケーションを使用する前に、SMU をインストールするように求めるエラーが表示されます。



(注) **root** ユーザのみが Cisco DCNM 11.5(1) に SMU バージョン 11.5(2) をインストールする必要があります。

SMU バージョン 11.5 (2) の未解決および解決済みの警告については、『[Cisco DCNM Release Notes、リリース 11.5\(1\)](#)』を参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

## Cisco DCNM 11.5(1) スタンドアロン展開での SMU のインストール

コンピューティング ノードで Cisco DCNM LAN ファブリックのインストールを使用して NI 5.1(1) アプリケーションを使用するためのソフトウェアメンテナンスアップデート (SMU) を適用するには、次の手順を実行します。

### Before you begin

- Cisco DCNM 11.5.(1) アプライアンスが動作していることを確認します。
- **appmgr backup** コマンドを使用してアプリケーションデータのバックアップを取得します。  
`dcnm# appmgr backup`  
DCNM サーバの外部にある安全な場所にバックアップ ファイルをコピーします。
- Cisco DCNM アプライアンスが VMware 環境にインストールされている場合は、必ず仮想マシンのスナップショットを作成してください。手順については、「[Cisco DCNM の VMware Snapshot サポート](#)」を参照してください。

### Procedure

- ステップ 1** SMU ファイルをダウンロードします。
- 次のサイトに移動します。 <http://software.cisco.com/download/>。  
ダウンロード可能な Cisco DCNM の最新リリースソフトウェアのリストが表示されます。
  - 最新のリリース リストで、リリース 11.5(1) を選択します。
  - Software Maintenance Update (SMU) バージョン11.5(2)** ファイルを見つけ、**[Download]** アイコンをクリックします。
  - SMU を適用するために開始するときに見つけやすいように、**dcnm-va.11.5.1-p1.iso.zip** ファイルをディレクトリに保存します。
- ステップ 2** **dcnm-va-patch.11.5.2.iso.zip** ファイルを解凍し、DCNM セットアップの **/root/** フォルダにファイルをアップロードします。
- ステップ 3** SSH を使用して **sysadmin** として Cisco DCNM アプライアンスにログインします。

**root** ユーザーを有効にする **su** コマンドを実行します。

```
dcnm# su
Enter the root password:
[root@dcnm]#
```

**ステップ 4** 次のコマンドを実行してスクリーンセッションを作成します。

```
[root@dcnm]# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

**ステップ 5** **mkdir -p /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダーを作成します。

```
[root@dcnm]# mkdir -p /mnt/iso
```

**ステップ 6** DCNM SMU バージョン 11.5(2) ファイルを /mnt/iso フォルダーにマウントします。

```
[root@dcnm]# mount -o loop dcnm-va-patch.11.5.2.iso /mnt/iso
```

**ステップ 7** /scripts/ ディレクトリに移動します。

```
[root@dcnm]# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
```

**ステップ 8** ./inline-upgrade.sh スクリプトを実行する

```
[root@dcnm]# ./inline-upgrade.sh
```

**Note** SMUが正常にインストールされると、DCNMプロセスが再起動します。これにより、DCNM Web UI へのアクセスが一時的に失われます。

**ステップ 9** **appmgr status all** コマンドを使用して、DCNM アプリケーションが機能していることを確認します。

```
[root@dcnm]# appmgr status all
```

**ステップ 10** **exit** コマンドを使用して、**screen** セッションを終了します。

```
[root@dcnm]# exit
```

**ステップ 11** DCNM セットアップから **dcnm-va-patch.11.5.2.iso** ファイルをマウント解除します。

**Note** SMU ファイルをマウント解除する前に、**screen** セッションを終了する必要があります。

```
[root@dcnm]# umount /mnt/iso
```

---

### What to do next

適切なクレデンシャルを使用して DCNM Web UI にログオンします。このバージョンでは、ログイン画面に 11.5(2) と表示されます。

[アプリケーション (Applications)] [カタログ (Catalog)] を選択します。 **Compliance** アプリケーションのバージョンを確認します。 Cisco DCNM 11.5(1) にメンテナンスアップデートを正常にインストールした後、バージョンが **4.0.1** と表示される必要があります。



**Note** メンテナンスアップデートを再度インストールしようとすると、パッチがすでに Cisco DCNM に適用されていることを示すメモが表示されます。

これで、Cisco DCNM Web UI で NI 5.1 アプリケーションを開始できます。手順については、「[アプリケーションのインストールと展開](#)」を参照してください。

メンテナンスアップデートのインストール後に DCNM トラッカー機能を使用するには、すべての NX-OS スイッチにトラッカーをインストールして起動します。Cisco DCNM Web UI を起動し、**[Control]**、**[Fabric Builder]** の順に選択します。詳細については、[DCNM トラッカー](#)を参照してください。

## Cisco DCNM 11.5(1) ネイティブ HA 展開での SMU のインストール

ネイティブ HA 展開モードで Cisco DCNM LAN ファブリック インストールで NI 5.1 アプリケーションを使用するためのメンテナンス更新を適用するには、次の手順を実行します。

### Before you begin

- Cisco DCNM 11.4.1(1) アクティブ ピアとスタンバイ ピアの両方が稼働していることを確認します。

ネイティブ HA モードの Cisco DCNM 仮想アプライアンスにこのソフトウェアメンテナンス更新を適用するには、アクティブアプライアンスにこの更新を適用します。アクティブアプライアンスのロールが再びアクティブになるまで待ちます。後でスタンバイアプライアンスに更新を適用します。

- **appmgr show ha-role** コマンドを使用して、アクティブサーバとスタンバイサーバが動作していることを確認します。

例:

アクティブ ノードで次の操作を実行します。

```
dcnm1# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Active
Current role: Active
```

スタンバイ ノードで次の操作を実行します。

```
dcnm2# appmgr show ha-role
Native HA enabled.
Deployed role: Standby
Current role: Standby
```

- アクティブおよびスタンバイの両方のアプライアンスで **appmgr backup** コマンドを使用して、アプリケーションデータのバックアップを取得します。

```
dcnm1# appmgr backup
dcnm2# appmgr backup
```

DCNM サーバの外部にある安全な場所にバックアップ ファイルをコピーします。

- Cisco DCNM アプライアンスが VMware 環境にインストールされている場合は、必ず仮想マシンのスナップショットを作成してください。手順については、「[Cisco DCNM の VMware Snapshot サポート](#)」を参照してください。

## Procedure

**ステップ 1** SMU ファイルをダウンロードします。

- a) 次のサイトに移動します。 <http://software.cisco.com/download/>。

ダウンロード可能な Cisco DCNM の最新リリース ソフトウェアのリストが表示されます。

- b) 最新のリリース リストで、リリース 11.5(1) を選択します。
- c) **Software Maintenance Update (SMU) バージョン11.5(2)** ファイルを見つけ、**[Download]** アイコンをクリックします。
- d) SMU を適用するために開始するときに見つけやすいように、**dcnm-va.11.5.1-p1.iso.zip** ファイルをディレクトリに保存します。

**ステップ 2** **dcnm-va-patch.11.5.2.iso.zip** ファイルを解凍し、DCNM セットアップのアクティブ ノードとスタンバイ ノードの両方の /root/ フォルダにファイルをアップロードします。

**Note** 例えば、アクティブおよびスタンバイ アプライアンスを **dcnm1** および **dcnm2** に個別に示します。

**ステップ 3** SSH を使用して **sysadmin** として Cisco DCNM アプライアンスにログインします。

**root** ユーザーを有効にする **su** コマンドを実行します。

```
dcnm1# su
Enter the root password:
[root@dcnm1]#
```

```
dcnm2# su
Enter the root password:
[root@dcnm2]#
```

**ステップ 4** 次のコマンドを実行してスクリーンセッションを作成します。

```
[root@dcnm1]# screen
[root@dcnm2]# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

**ステップ 5** アクティブ ノードで、SMU バージョン11.5(2) をインストールします。

- a) **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
[root@dcnm1]# mkdir -p /mnt/iso
```

- b) SMU バージョン 11.5(2) ファイルを /mnt/iso フォルダにマウントします。

```
[root@dcnm1]# mount dcnm-va-patch.11.5.2.iso /mnt/iso
```

- c) **/scripts/** ディレクトリに移動します。

```
[root@dcnm1]# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
```

- d) **./inline-upgrade.sh** スクリプトを実行する

```
[root@dcnm1]# ./inline-upgrade.sh
```

**Note** SMU が正常にインストールされると、DCNM プロセスが再起動します。これにより、DCNM Web UI へのアクセスが一時的に失われます。

- e) **appmgr status all** コマンドを使用して、DCNM アプリケーションが機能していることを確認します。

```
[root@dcnm1]# appmgr status all
```

**Note** スタンバイ ノードに SMU を適用する前に、すべてのサービスが Cisco DCNM アクティブ ノードで稼働していることを確認します。

**ステップ 6** スタンバイ ノードで、SMU バージョン 11.5(2) をインストールします。

- a) **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダーを作成します。

```
[root@dcnm2]# mkdir -p /mnt/iso
```

- b) SMU バージョン 11.5(2) ファイルを /mnt/iso フォルダにスタンバイ ノードでマウントします。

```
[root@dcnm2]# mount dcnm-va-patch.11.5.2.iso /mnt/iso
```

- c) **/scripts/** ディレクトリに移動します。

```
[root@dcnm2]# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
```

- d) **./inline-upgrade.sh** スクリプトを実行します。

```
[root@dcnm2]# ./inline-upgrade.sh --standby
```

- e) **appmgr status all** コマンドを使用して、DCNM アプリケーションが機能していることを確認します。

```
[root@dcnm2]# appmgr status all
```

**ステップ 7** **exit** コマンドを使用して、**screen** セッションを終了します。

```
[root@dcnm1]# exit
```

```
[root@dcnm2]# exit
```

**ステップ 8** DCNM セットアップのアクティブ ノードとスタンバイ ノードの両方で **dcnm-va-patch.11.5.2.iso** ファイルをアンマウントします。

**Note** SMU ファイルをマウント解除する前に、**screen** セッションを終了する必要があります。

```
[root@dcnm1]# umount /mnt/iso
```

```
[root@dcnm2]# umount /mnt/iso
```

### What to do next

適切なクレデンシャルを使用して DCNM Web UI にログオンします。このバージョンでは、ログイン画面に 11.5(2) と表示されます。

[アプリケーション (Applications)] [カタログ (Catalog)] を選択します。Compliance アプリケーションのバージョンを確認します。Cisco DCNM 11.5(1) にメンテナンスアップデートを正常にインストールした後、バージョンが **4.0.1** と表示される必要があります。



#### Note

メンテナンスアップデートを再度インストールしようとする、パッチがすでに Cisco DCNM に適用されていることを示すメモが表示されます。

これで、Cisco DCNM Web UI で NI 5.1 アプリケーションを開始できます。手順については、「[アプリケーションのインストールと展開](#)」を参照してください。

メンテナンスアップデートのインストール後に DCNM トラッカー機能を使用するには、すべての NX-OS スイッチにトラッカーをインストールして起動します。Cisco DCNM Web UI を起動し、[Control]、[Fabric Builder] の順に選択します。詳細については、[DCNM トラッカー](#)を参照してください。

## Cisco DCNM 11.5(1) コンピューティングノードへの SMU のインストール

コンピューティングノードで Cisco DCNM LAN ファブリックのインストールを使用して NI 5.1 アプリケーションを使用するためのメンテナンスアップデートを適用するには、次の手順を実行します。

### Before you begin

- Cisco DCNM 11.5.1(1) アクティブ ピアとスタンバイ ピアの両方と、すべてのコンピューティングノードが稼働していることを確認します。
- アクティブ アプライアンスとスタンバイ アプライアンスの両方に SMU バージョン 11.5(2) がインストールされていることを確認します。

手順については、「[Cisco DCNM 11.5\(1\) ネイティブ HA 展開での SMU のインストール, on page 4.](#)」

### Procedure

**ステップ 1** SMU ファイルをダウンロードします。

- a) 次のサイトに移動します。 <http://software.cisco.com/download/>。

ダウンロード可能な Cisco DCNM の最新リリースソフトウェアのリストが表示されます。

- b) 最新のリリースリストで、リリース 11.5(1) を選択します。

- c) **Software Maintenance Update (SMU) バージョン11.5(2)** ファイルを見つけ、**[Download]** アイコンをクリックします。
- d) SMU を適用するために開始するときに見つけやすいように、**dcnm-va.11.5.1-p1.iso.zip** ファイルをディレクトリに保存します。

**ステップ 2** dcnm-va.11.5.2.iso.zip ファイルを解凍し、DCNM のセットアップですべてのコンピューティング ノードの root/ フォルダにアップロードします。

**Note** たとえば、3つのコンピューティング ノードをそれぞれ **dcnm-compute1**、**dcnm-compute2**、および **dcnm-compute3** と指定します。

**ステップ 3** SSH を使用して **sysadmin** として Cisco DCNM コンピューティング ノードにログインします。

**root** ユーザーを有効にする **su** コマンドを実行します。

```
dcnm-compute1# su
Enter the root password:
[root@dcnm-compute1]#

dcnm-compute2# su
Enter the root password:
[root@dcnm-compute2]#

dcnm-compute3# su
Enter the root password:
[root@dcnm-compute3]#
```

**ステップ 4** 次のコマンドを実行してスクリーンセッションを作成します。

```
[root@dcnm-compute1]# screen

[root@dcnm-compute2]# screen

[root@dcnm-compute3]# screen
```

これにより、コマンドを実行できるセッションが作成されます。このコマンドは、ウィンドウが表示されていない場合、または切断された場合でも実行し続けます。

**ステップ 5** コンピューティング ノード 1 で、SMU バージョン 11.5(2) を適用します。

- a) **mkdir /mnt/iso** コマンドを使用して、**iso** という名前のフォルダを作成します。

```
[root@dcnm-compute1]# mkdir -p /mnt/iso
```

- b) DCNM SMU バージョン 11.5(2) ファイルを /mnt/iso フォルダにマウントします。

```
[root@dcnm-compute1]# mount dcnm-va-patch.11.5.2.iso /mnt/iso
```

- c) **/scripts/** ディレクトリに移動します。

```
[root@dcnm-compute1]# cd /mnt/iso/packaged-files/scripts/
```

- d) **./inline-upgrade.sh** スクリプトを実行する

```
[root@dcnm-compute1]# ./inline-upgrade.sh
```

**Note** SMU が正常にインストールされると、コンピューティング ノードが再起動します。



**ステップ 6** コンピューティング ノード 2 およびコンピューティング ノード 3 で [ステップ 5, on page 8](#) の手順を実行して、SMU バージョン 11.5(2) を適用します。

**ステップ 7** **exit** コマンドを使用して、**screen** セッションを終了します。

```
[root@dcnm-compute1]# exit
```

```
[root@dcnm-compute2]# exit
```

```
[root@dcnm-compute3]# exit
```

**ステップ 8** **umount /mnt/iso** コマンドを使用して、すべてのコンピューティング ノードで `dcnm-va-patch.11.5.2.iso` ファイルをアンマウントします。

**Note** パッチファイルをアンマウントする前に、**screen** セッションを終了する必要があります。

```
[root@dcnm-compute1]# umount /mnt/iso
```

```
[root@dcnm-compute2]# umount /mnt/iso
```

```
[root@dcnm-compute3]# umount /mnt/iso
```

---

### What to do next

適切なクレデンシャルを使用して DCNM Web UI にログオンします。

[アプリケーション (Applications) ]>[コンピューティング (Compute) ]を選択します。コンピューティング IP ステータスが [結合済み (Joined) ]として表示されるまで待ちます。



---

**Note** SMU を再度インストールしようとする、SMU がすでに Cisco DCNM に適用されていることを示すメモが表示されます。

---

